

好きな言葉

今月は本野が担当します。

好きな言葉、印象に残った言葉、著名人の名言、座右の銘、、、皆さんも何かしら頭に浮かぶ言葉があると思います。

私も人生振り返るとたくさんの言葉に出会いました。小学生のころは野球ばかりやっていたため、ある社長の言葉より野球選手の言葉をよく覚えていました。

最初に好きになった言葉が、王貞治さんの本を読んで一本足打法を習得するために畳が擦り切れるまでバットを振り続け努力した。ということから「努力」。

その次は守備のうまさと、芸術的な流し打ちに憧れ真似をしていた元巨人の篠塚和典さんがサイン色紙に書いていた「前進」。(私も右投げ左打ちでセカンドではなくショートでしたが、篠塚さんと同じ背番号6がとても気に入っていました。ちなみに私は流し打ちではなく振り遅ればっかりでしたが(笑)) 特に前進という言葉は前を向く、少しでも前にとプラス思考になるのでテストの点が悪くても、母親に叱られても?「次だ。次っ」と都合のいいように使っていた思い出もあります。

その後、特に印象に残っているのが、

「完全燃焼」 大好きだった車の漫画

「強いものが生き残るのではなく、変化したものが生き残る」ダーウィンの進化論

「富の^{あるじ}主は天下の人びとである」江戸時代、魂の商人と言われた 石田梅岩

「人が踏まないところでアクセルを踏む。その結果この家(我が家)が建ち、お前たちが生活できている」日本一速い男 レーサー星野一義さんが息子に話した言葉

「命を捨てて終わることより、一生政を正すために生きること」 葉隠の精神

「やってみせて言って聞かせて、やらせてみて、ほめてやらねば人は動かじ」 山本五十六

「実るほど頭が下がる稲穂かな」「鏡は姿を写し、言葉は心を写す」

「真剣だと知恵が出る。中途半端だと愚痴が出る。いい加減だと言いついでる。」

「準備とは意識付けである」

「技術力に限界はあるが、頭脳に限界はない」

「現状に満足したとたん成長は止まる」

「いい仕事をするなあとと思わせることが信頼関係を高め本人の優位性を養う」

「若い時流さなかった汗は年を取って涙に変わる」

「遊びは自分が喜ぶ。仕事は人が喜ぶ」

「黙っていたらわからない。短い言葉でも人を感激させ感動させることができる。まさに“言葉は力なり” 言葉が無ければ何も伝わらない」 etc

では、私の座右の銘は・・・



この言葉は学生時代のとある時に会いました。

学生時代部活に明け暮れ、部内では気持ちよく試合ができ結果も付いてきてレギュラーに。しかし公式戦になると部内戦で私に負けたから応援に回っている仲間のことを思うと勝たねばという焦りが先行し体が動かなくなるほど極度の緊張状態。（正確には肩に力が入り、そして膝が曲がらない）

そんな時、この言葉を思い出すとスーっと肩の力が抜け、緊張が解け、気合いが入り一球一球に集中（今なら全集中？）することができ、しっかり腰が落ちていつものショットが打てるようになりました。本当に何度も何度もこの言葉に救われました。

社会人になっても、仕事をしていると緊張する場面は多々あります。その時は必ずこの言葉を唱えその場をしっかりとこなすようにしてきました。

座右の銘と決めてからはこの言葉が私の心の支えとなっております。

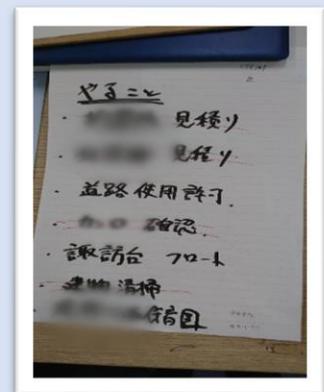
最後に私が今一番好きな言葉。昨年亡くなった野村克也さんの本で見た

「メモは向上心の現れ」

メモを取ることは、相手にいい印象を与えますし、書いておけば思い出すこともできます。（メモを取らないと忘れてしまうということも年々増えてきましたし・・・）

そんな3月のある日、営業社員の机の上にこんなものが、

→



社員は皆忙しい日々を過ごしております。3月は入札が多い月でもあり営業にとって一番忙しい月と言っても過言ではありません。そのバタバタの状況でも一つ一つ業務をいつまでにこなさなければなりませんし、それはこなして当然です。忘れることがあってはいけません。

忘れないためにもやることを書きだし、終わったことは線を引く。忘れない方法として私はこれが一番だと思います。以前の会社で尊敬する先輩もしていました。

また今でも手本にしている当時の上司は「指示は書いて渡せ」が口癖でした。

メモ（書く事）は大事です。

メモを取って社員がどのように成長していくかこれから楽しみです。

そして、丸三興業の今年の言葉

「誰かのために課題を解決し感謝されよう」

社員一同、真剣に課題に取り組み解決を目指します。そして皆様に感謝されるように少しでも日々「前進」します。

代表取締役 本野裕二郎